京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可からず

明治四十四年紀元二千五百七十一年
發行所　京城新報社
仁川支局　仁川宮町三丁目
東京支局　東京市京橋區南傳馬町

雜錄

●平北の柞蠶處分　平

安北道は朝鮮に於ける唯一の柞蠶製產地にして本年度よりは特に道廳に於て奬勵せし結果產繭額も非常に增加したるが之れが處分方に關しては一方道廳の授產事業として製絲を開始すると共に其大部分の產繭の販路を求めざるべからざるを以て過般農商工部商工課にては宮田技師及京都の絲業者兒島氏に囑托し調査せしめたる結果兒島氏は川上道長官を同行し芝罘に至り同地にて三井物產支店が該製絲業に從事し居るを幸ひとし產繭を一手に買收せしむる事に協議纏まりたる由なるが取引價格は未だ決定せざるも從來安東縣を經て清國に輸出したるものは芝罘に至る二重稅を拂ひ居りし由にて今回直接芝罘に送るに至らば關稅も二重に徵せらるゝ事なく非常に利便なるべしと云ふ

●慈惠院診療狀況

各道慈惠醫院開設以來本年六月末日迄に診察せし各醫院を通じたる患者總數は二十九萬三百二人にして其延人員は實に百九十七萬二千二百二十四人に達せり之れを一院一ヶ月平均患者延人員の最高及最低を記さんに江原道慈惠醫院に於ける二千四百六十四人を最低とし總督府醫院に於ける一万七千七百八人を最高なりしと雖も尙は最近の成績に徵すれば各院共に漸次增加の傾向あり因に右數により普通患者と施療患者に付日鮮人の比例を聞くに內地人に在ては普通患者九割七步に對し施療患者三步なるが鮮人に在りては普通患者一割一步に對する施療患者八割九步の割合なりと云ふ

面及洞に關する舊慣制度（二）

（朝鮮總督府調査）

其一　面洞に關する古代制度（續）

傳道司五家統の節目につき

一　統及里は本面に屬し面には都尹副尹各一人ありて里を稱するに某面第一里とし漸次二、三、四、五、とするものとす

一　現今郡邑の中に於て郡邑品を攝掌するこそ因より舊く面も所謂里正なる

者に至りては又每に匪賊類を以て之を差定するが故に人多く之を謀避すされば今後は里正及面尹は必ず皆地位あり而も名望の一鄕に聞へたる者を以てし文武の蔭職者と雖亦之に差定するを得以て各統を嚮導せしむべく若し謀避する者あれば徒配の律を以て論ず

一　凡そ統里の民は相保ち相司りて婚喪相恤み善は相勸勉し惡は相告戒し訟を息め爭を罷め信を講し睦を修め以て善良の民たらんことを務むべく若し孝ならず悌ならず主に叛き人を殺し風を傷け俗を敗り賊を盜み道ならざる等の事なれば必ず里面に告げ本縣に申さしめ犯罪輕重に從ひ懲治することゝなすべし

之を要するに昔時に於ける地方行政に關する下級制度は隣保相扶の五家を結束し之をして相扶け相治めしむる一種の自治團體たらしむると同時に國の行政の補助機關たらしめたるや明かなり統主里正管領等は何れも年長謹直にして操行德望衆の推服するものを撰みて之に任じ其の職務としては政令の傳達、租稅の取立、戶籍の整理等其の區內に於ける行政事務の執行に各々當り區域を代表し共同の事務を掌り區域內に於ける爭訟を裁斷し風敎の取締に任ずる等團體自治の統率機關たる以上の制度は果して完全に實行せられしや又如何に變遷發達を遂げたるやは事蹟の徵すべきものなきを以て之を詳にするを得ずと雖も恐らくは完全なる運用を見る能はず諸般制度の頹廢と共に遂に廢廢に歸したるものなるべし

新講談掲載豫告

引續き永々御愛讀の榮を賜はりし本紙所載の小說「召使れ初」も愈々近日大團圓を告げ申候に就ては之れに代る讀物何役を詮鑿の結果東都講談界の巨匠小金井蘆洲の口演に係る俠客

『深川庄八正國』

の傳を掲載することに致し候同人の豪勇俠氣は眼中王侯貴人なく義に因つては孝子節婦の爲めに氣を吐くこと千丈長夜燈下の讀物として二なきものと存じ候へば相變らず御愛讀下さる可願上候

新講談掲載豫告

外事一束

△獨佛　兩國は伊土葛藤の間に立ちて調停に努力しつゝあり伊國軍隊はトリポリ上陸を延期し軍艦行動範圍を限せられ平和の曙光あり伊民激昂す

△佛艦　爆沈に就き獨帝及獨大使は佛大統領に對し深厚の弔意を表したりと

△伊內閣の作りし摩國協約草案は獨政府の意見と合致し近く解決を見んと

△英國　藏相の國民保險案は共濟會員醫師勞働黨員に評論され不人望なりと

△米國の製鋼業を牽掣せる鋼鐵トラストを不法獸團とし檢擧の風說專也

△四川　又復擾亂し成都敎萬の暴徒に襲擊され官軍潰走し電信不通事態不明

△四國　借款は伯林會議決定通り十月十五日支那貨幣改良借款として賣出す

●歌

屑　雲鶴園宿堂主人

○行水を流のまゝに去らしめよ共に思をたゝゆかしめよ

○このれもひ今は捨たりゆく人のこゝろまかせに思ひ捨たり

○我心石と冷たり今にしてねぎごとあらず操言あらず

これの新文

道のあらまし　進みゆく　道のすぢをす　一ひらの　文にのせもて　國の爲　民の爲にと　みがくれし　事だにとく　に　耳敏川　きくより早く　かきながす　賞いさをしは　久延毘古の　神わざならず　いかでかは　外にはあらじ

●新刊紹介

●東京經濟雜誌　「金融有價證券市況」「滿鐵憲政の前途」「東京市と瓦斯合併問題」「減債と減稅」「米價の前途」外數項何れも有益なり（一部十二錢東京々橋區彌左衛門町東京經濟雜誌）

●朝鮮農會報　口繪、論說、調査資料、寄書の各欄何れも參考に資すべし殊に口繪の東拓移民實景は移民が平素の勤勉を偲ろに想察せしむ（一部金二十錢京城中部貞善坊朝鮮農會）

●月報　八月中に於ける朝鮮經濟界の趨勢及び京城商業界の狀態を記述す（京城日本人商業會議所）

●少年　編輯極めて完美せり口繪鮮麗記事豐富少年の讀み物としては上乘なり（一部二十錢東京々橋區南鍋町時事新報社）

上海へ旅行中之處歸省　岡田榮

西洋商話

無代の桂庵が御座い升

下女の拂底には何處の奧さんも困つて居られる所へ着眼に及んで、良い下女を御世話するやうに仕たらば、乾度奧さん方の氣受もよく、深い御得意關係を結び得らるゝ事と、店內に無代の桂庵を開いて見たが探す方は三河屋が周旋なら安心だと評判もよく、賴む方は三河屋さんの御世話なら立派な家へ行かれるに違ひないと申込む者もあつて思ひの外に仕事も運んで行く事が出來た爲め、双方の滿足を得て首尾克く目的を果すことが出來た。

文苑

●新聞紙をよめる長歌　加藤梅雄

新しき　文の一ひら　新しき　其一ひらを　朝に　まち見る心　夕每に　まち見る心　今の世に　たぬしき事は　いさごなす　かずくあれど　わけはしも　外にはあらじ　陸といふ　陸のすまく　海といふ　海のはてく　天の下に　ありとあらゆる　ことくを　居ながら爰に　遠鏡　手にとる如く　明鏡　うつりかよはせ　開けゆく

召使れ初

第百五十八回　黑法師



中門の邊山吹の花咲き亂れ、泉水の汀杜若の葉繁り合ひて、雨を呼ぶ蛙の鳴く音騷しかりき、れ家は下襦袢に玉襷、その上より縞入交の夾衣、黑繻子の帶をきりゝと結び、主が紀念の匕首の目釘濕して、若葉の蔭に身を潜めつゝ、今か今かと敗澤野の退出をこそ待ちたりけれ

「例年れ歌合せ御佳例も首尾好く終み、御前樣御機嫌麗しう、此樣なた芽出度いことござりませぬ」と挨拶するは相生なり

「さいの、今日は思ひ掛けぬ秀逸取て互に胸の底濟々する、私は一寸れ屏間へ退つて、いつもの御湯頂戴する、それもし樣は政姫樣れ乳人まで、御前の首尾を傳へてはなるまいかの」と云ふ離宛ら血に飽きたる狼の吼ゆるに似たりき、れ家は沈ぎ潜み居る

「必得てござります、れ乳人れ唐橋樣も此事れ聞きあらせられたりや、さぞれ歡びござりませう、まこと政姫樣千萬歲の確立たすに、この樣の歡びござりませぬ」

「これも皆なうもじ樣働きぢや、一件悉く著者とある上、御褒奬の御沙汰もあらうで、此上ながら政姫樣へ忠勤を忘れまいぞよ」

「親の命日は忘れることでござりましても、政姫樣の御事、忘れる事でござりませぬ」

「今日は心地よい日であつた、重る雲一時に晴れて、清しい月の光り明んだ後ほど入らせ、まだ談合もござるで」

「さらば御機嫌よう……」と相生は媚びる如く「れ中門外まで見送り申すでござりませうかな」

「それには及ばぬ、行き馴れた路、ゆるくと參るわの」

運命の壺は是非なかりき、澤野は相生と袂を別ち、庭下駄輕く、裲衣の褄取りて、若葉の庭の清しき間を、中門外へ立ち出づる、年は六十を過ぎたれど、顏光澤かに、眼の色清く、白髮交りをたすべらかしに結ひ、茶絹紬の小袖に白綸子の下着、黑地に白く源氏車と櫻の花とを染め出したる裲衣着下し徐に歩みを運ぶさま、流石に五萬六千石のれ奥を總る御寄とは確に見ゆる若葉の蔭に身を潜めて、沈ぎ機會を伺ひ居たるれ家は、三尺あまりを遣り過ごして、猛然と現はれ出でぬ、彼の手には紀念の匕首、彼の目には怨念の

究、詞に力を籠めて

「澤野樣れ待ちなされませ」

聲は細けれど鋭く闇を刺したりき、右手は帶に挿みたる懷劍の柄に觸れたり、振り返りて

澤野は驚としつゝ歩を止める、

「見馴れぬ者、うなた何者ぢや」

れ家は躙りたるまゝ、じりじりと身を進めて

「れ闇ひの者でござります」

「什麼といふ」

「澤野樣れ見掛け申して、れ闇ひ申し上げるでござります」

「闇ひとは……」と油斷なく一歩退りて

「何事ぢや」

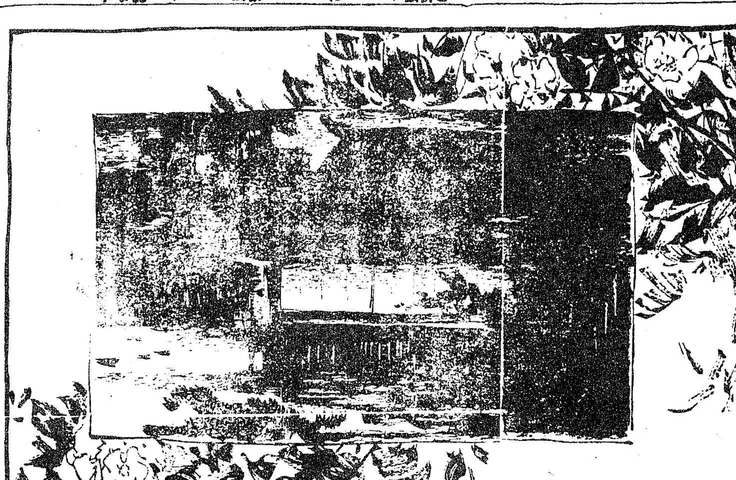
「恐れながら御方御一命が申し受けたうござります」

云ひ終りてきつと擡げたる顏の色の凄まじさ、澤野は身構ね

「ね、」と睨み付て「うなた何者ぢや」

「れ見忘れとござりまするか、中年寄れ澁樣召使れでござりまする」

「ね、ね、ね〜」



東京電報

●**日本は嚴正中立** 一日日曜日にも拘らず外務省は同午後一時より高等官會議を開き伊土國交斷絕に就き協議の結果兩國の交戰には全然中立の態度を採る事に決したり

●**伊土戰爭公電** 伊太利國は宣戰布告と同時に全く戰爭狀態となりたる旨林駐伊大使より林外務大臣に公電ありたり

●**土豫備兵召集** 伊太利來電に依れば土耳其は豫備兵を召集し艦隊は既に希臘國境に運動を開始したり

●**土艦擊沈す** 伊國海軍はプレヴェザ港に於て土國驅逐艦一隻を[illegible]

●**土內閣總辭職** 土耳古內閣は總辭職をなし[illegible]新內閣を組織せり

●**伊艦沿岸を包圍す** 伊太利軍艦はトリポリ、プリベザ上陸に先だち土耳其驅逐艦一隻を擊沈す上陸後伊艦隊は同港の明渡しを要求せしも土耳其は之を拒絕し陸地に多數の軍隊を派し抵抗せるを以てトリポリ沿岸は伊太利艦隊の包圍する所となり伊太利人に退去を命ぜり

●**伊土戰爭奏上** 林外相は二日午前參內伊土の交戰及我國の態度に就き奏上する處あり[illegible]

●**土國公使の公言** 在米土國公使は伊土戰爭を評して不當なる戰爭なりと公言せり

●**米國の中立宣言** 米國は伊土交戰に對し嚴正中立を宣言せり

●**伊土開戰と日本** 伊土開戰に關し其日本に及ぼす影響[illegible]

●**獨逸平和維持** 獨逸は今回伊土兩國間の[illegible]

●**師團增設豫算** 來年度陸軍省豫算書は本日大藏省に送附したるが彼の朝鮮二個師團新設豫算は病氣引籠りの爲め內閣に於て其方針決定せざるに依り一致其豫算を大藏省に送附の運びに至らざりしも右は陸軍省にては疾くより既に決定せしものなれば內閣の方針決定次第大藏省に送附するの準備整頓し居れりと

●**稅制整理と各派** 稅制整理は各派の研究を要する重要問題なるが中にも營業稅を地方稅に移して[illegible]通行稅織物稅等を改正して[illegible]等は各派共是非の議論[illegible]

●**航路補助案提出** 遞信省にては[illegible]航路の調査を爲し[illegible]として香港、西貢、[illegible]航海すべき定期航路[illegible]を今期議會に提出する事となる可し

●**紐育の小麥騰貴** 紐育の小麥[illegible]布告に因り騰貴せり

●**各府縣の監獄改築** 各府縣に於ける監獄は勿論現[illegible]なる書式なるは[illegible]居るも經費の都合[illegible]

●**日滿露貨物の輸送** 日滿露貨物の輸送に付ては我鐵道院に於ては[illegible]交渉を爲しつゝあるが[illegible]運輸事務局長チェム[illegible]旅行十にて來月上旬其上京にて實施期日[illegible]するに至るべしと

●**東宮御誕辰祝賀** 二日は東宮[illegible]日につき宮中に於て[illegible]

●**伊大使の外相訪問** 一日伊國大使は外相を訪問し伊土交戰開始[illegible]

●[illegible] 久しき以前より破[illegible]獨逸ケッテングン銀行[illegible]

雜報

●**トリポリーの情勢** 伊土[illegible]トリポリーの情勢を[illegible]左の如し

▲トリポリの地勢　トリポリーは土耳其の屬領にして東は埃及に西はチュニスアルゼリーに境し南はサハラ沙漠に連れり面積三十九万八千九百平方哩人口は該地はベンガジーを合して約百万人なり該地は千六百年代に土耳古の勢力範圍に歸せしが當時アラビア種族は多少獨立の手段を採りたれども遂に千八百三十五年に至つて土耳古の領土として布告されたり爾來土耳其は同地に總督を置き以下大小の官吏を本國より派し統治せしめ居たり土耳古は千八百九十二年に西部國境を協定したるが南方は今尙は境界明確ならず

▲トリポリの住民　住民の多くはバルバー人にして次に猶太、マルタ、伊太利人にして土耳古人は極めて少數なり言語はアラビア語を使用すると公用語としては土耳古語を用ふる事となり居れり

▲各都市　首府トリポリーの住民は約三萬人ベンガジー市は一万五千人此の他デルナーコームスの都市あり又商隊驛場としてカルダムスメルジックカット等あり

▲財政　土耳古の財政は未だ曾て其歲入出を明確に發表されたることなきを以て正數を知るを得ざるも歲入の重なるは土地稅其の他雜稅其他の稅に重きを置き歲出は國債の元利軍事費其の他に多額を占む千九百九年の現計によれば歲出二億五千萬圓國債現在額十億萬位なるべし而してトリポリーの經費は約九十萬圓にして內五十四萬圓は軍事費なり

▲軍備　土耳古帝國の軍備は二箇師團を以て編成せしもの十二軍團及三箇師團を以て編成せるもの八軍團あり尙は此の外に戰時に於のレデーフと稱する十一箇師團を編成し本國の變遷其他の守備に充つる事を得る組織なれば戰鬪員の總數は約四十萬人と算して大差なかるべし此の外政治組織變遷事業等に就き詳細聞く所ありしも更らに報道すべし

●**縣洞の行政問題** 縣洞軍港の市街は追々建造せられ移住民男女の同地へ入込もの日々其數を加ふるの今日同港の行政を總督府に屬せしむべきや將た海軍に委任すべきやとは亟急の解決を要する問題とし目下總督府と海軍當局者間に起り居る次第なるが聞くところに因れば總督府にてはドコドコ迄も同港を道の所轄なる一、下級行政一區となさんとし海軍側にては右と反對にドコドコ迄も同港を總督府の行政區以外に措かんとし兩々主張して相讓らず故を以て齋藤海相は同問題解決の材料を得んがため今回同地に來り宇佐美內務部長官は總督府側の主張を海相に陳せんがため最近同地へ赴きたるなりと云ふ

●**總督五日出發** 既報の如く寺內總督は愈々來る五日東京出發歸任せらるゝ旨二日總督府に宛て電報ありたるが小松長官及び兒玉局長隨行するゝ筈なり

●**鴨綠江航運業** 從來鴨綠江の航運業は千五百隻に餘まる支那ジャンクの手に依つて經營せられ居たるが此度內國通運會社が二十五萬圓を投じ別に一般より二十五萬圓の株式を募集して新に五十万圓の資金を以て同江に川蒸氣を浮べ最初は楚山以降の航運業を開始せんとて目下調査の步を進め居れるが具体的の計畫成るは來年に至るべしと云ふ

●**警備機關配置增減** 既報の如く警備機關は從來の密集制を分散制度に改むる事となし警察側に於ては既に一日より實施本月十日頃迄には全部の配置を終る筈なるが其分散配置の增減は左の如し

道名	駐在所 新設	駐在所 在來	駐在所 現在	派出所 新設	派出所 在來	派出所 現在	駐在派出總數
京畿	二二	二一	四三		八	八	五一
忠北	一〇	一一	二一				二一
忠南	三二	二五	五七				五七
全北	二二	一七	三九				三九
全南	一六	二七	四三		一	一	四四
慶北	一〇	二六	三六	四	七	一一	四七
慶南	二七	二六	五三		二	二	五五
江原	一〇	五	一五				一五
咸南	二	一五	一七		五	五	二二
咸北	一〇	一四	二四		一	一	二五
平北	一四	二七	四一				四一
平南	一八	六	二四	三	五	八	三二
黃海	九	一二	二一	三		三	二四
計	二〇二	二三二	四三四	一〇	二九	三九	四七三

右の內在來駐在所を廢止したるもの忠南一、全南五、慶北三咸南六平北二平南八黃海五派出所の廢止は平南一なるが尙は憲兵側は實施迄に三四日の時日を要すべしと

●**全國聯合會の延期** 本月下旬東京に開催の筈なりし全國會議所聯合會は都合により本年十二月開會の事に延期したる旨東京會議所より京城會議所に電報し來れりと

●**ジ博士の消息** 滯京中のジョルダン博士は一日午後二時五分南大門發下仁し各所視察の上午後六時十分歸京し又二日午前十時二十分南大門發水原に赴き勸業模範場を觀察し午後五時二十二分歸京したり尙博士及夫人玖馬氏の一行は三日前午九時南大門發釜山に赴き一泊の上四日夜出帆の櫻丸に便乘下の關に渡り夫より橫濱に直行せらるゝ豫定なり

●**朝鮮煙草耕作狀況** 朝鮮に於ける煙草の販路に關しては既報したるが今朝鮮煙草の耕作成績につき聞く處によれば朝鮮の氣候は內地に比し非常に乾燥せる結果葉煙草は如何に善良なる內地種を植ふるも柔軟なる能はずして朝鮮固有の辛らく臭き者に變化するを以て朝鮮葉は絕對に鮮人の需要に充つるより他に策なしとの事なり面して此結果は今回創立されんとする煙草會社の如きも內地葉を用ふる事は專賣法によりて能はず又東亞煙草會社の如き特權を得る事は容易ならざるを以て止むなく朝鮮葉を使用するの外なければ其創立の素志と或は相反するのを見る如きなしとも限られず又假りに鮮人向きの製造を主たる目的とせば大なる英米トラストと競爭するの要あり旁々朝鮮煙草は耕作の根本に於て到底內地種の如くなる能はずとの事なり

●**京釜間長距離電話** 京釜間の長距離電話は既報の如く既に架線を了し目下通話試驗中の由なるが本試驗を了する迄には尙ほ四五日間を要すべく隨て開通期も本月十日前後なるべしと通話料金に就ては廣く內地其他の料金を參酌して出來得る限り安價とし一般公衆の便宜を計るべしと

●**京城民會開會議事** 二日午後三時より京城民團樓上に民會を開き昨年度の決算及道路擴張問題を附議せり

●**仁川民團會計檢查** 仁川民團にては二日より四十四年度上半期に於ける會計檢查を行ふ由因に檢查役員は加藤、竹田津、藤村の三氏なりと

●**京城授產場の製絲** 京城府授產場にては本月六日より各授產生をして製絲を開始せしむる筈なるが其製絲原料の繭は約百五十石餘にして一、二の兩月は寒氣のため休業し明年四月迄に全部製絲の筈なりと

●**鮮銀發行高週報** 九月二十四日より同三十日に至る朝鮮銀行券發行高週報左の如し

銀行券總發行	平均高	二五、九二二・四五七
內正貨準備發行	平均高	九、二八六・七〇四
保證準備發行	平均高	一六、六三五・七五三

●**東拓會社記者招待** 既報の如く東洋拓殖會社にては一日在京の新聞記者通信員一同を鍾路出張所に招待し一蠶島經營の狀況を說明し終りて午餐の饗應あり歸路漢江に舟遊して一日の消興を恣にしたり

●**夜行列車運轉** 過般來鐵道局三本營業課長東上し鐵道院と關釜聯絡其他に關し打合を爲したる結果京釜線夜行は十二月一日より連日運轉する事に內定したりと云ふ

●**通關手數料改正** 豫ねて京城稅關出張所貨物取扱手數料率の高低往々權衡を失するものあり之が改正を通關業組合に於て其の筋に出願中の處此程認可を得たるを以て十月一日より實施する事となりたりと

●**山縣總監の午餐會** 山縣政務總監は二日午後一時より自邸に於て世界漫遊の途次來鮮滯京中のミス、センプル並に侍女と上海迄同伴さるゝミセス、マコーレを招待し午餐の饗應あり山縣總監夫人令孃及び池邊書記官桑原秘書官藤波通譯官等列席せり

●**佛國司令官の出發** 滯京中なりし佛國北淸駐屯軍司令官ヘラコ氏は一日午前九時京城を出發したるが因に明石警務總長は水原まで見送りたり

●**山縣政務總監下仁** 山縣政務總監は一日ジョルダン博士と同伴仁川に赴き即日歸京したり

●**關屋學務局長出發** 既記の如く關屋學務局長は一日午前南大門驛發學事狀況視察の爲め忠淸南北の兩道へ出張せり

●**群書大系の刊行** 朝鮮雜誌社經營の朝鮮古書刊行會に於ては九月一日の刊行物として朝鮮群書大系第二十三輯として燕軍戰史類を刊行豫約者へ配本しつゝあり尙朝鮮古書目錄を附錄として會員に頒たれつゝありと

●**平和博士講演**（大要）

今日國家間の戰爭は借金なしには到底出來ぬのである、そして從來戰爭の爲に負はされた莫大の負債は益々其重荷が增す許りで些つとも減らない、只今のローマ電報によれば伊太利と土耳其とがトリポリ問題で戰爭を始めたと云ふ事である（本社は逸早く伊土開戰の號外を博士に呈したるを以てそれを講演中に引用せられたり）併し土耳其は昨年二千六百萬圓の外債を募集して居る、而して土耳其が戰爭するのは債權者の放任し得ざる處であるから吃度之を早く片く附てやうと思ふ、茲に一つの株式會社を支配し樣と思ふならば其株主となるより其株式會社の債權を握ればそれで其會社を自由にする事が出來る、一國を自由にするのも同じ工合であつて今日歐州の國債の總額は五百二十億圓に達して居て此國債を掌握して居るのは有力なる銀行家であつて是等の銀行家は自己の利害を考慮して和戰の決定をなすのである、最近摩洛哥問題に就て獨佛間の危機が屢々傳へられたけれども私は信じなかつた、何となれば双方の國家に對して同一の銀行家が債權者であるから若し兩國が戰爭するならば歐州文明の大破壞であつて債權者の默認するに忍びぬ處であるから結局平和に了ると信じて居た、伊土間の關係も同じである、伊太利は五十二億圓の借金がある、土耳其が歐州列國の間に介在して倒れんとして倒れぬのも同じく土耳其の債權者が列强の政治を操縱して倒さぬからである、實に過去百四五十年の間に國家の實力が小數銀行家の手に握られ而て此銀行家連は和戰の樞紐を立てゝ其間に公債騰落の利を占めて益々其實力を養つて居る此等の銀行家連は國家以外の目に見ねざる黃金の王國を造つて居るのであるロスチャイルド一家の如きは其最なるものである。

馬種の改良はよき種を撰擇して其子孫を遺す手段によらなければならぬ、人類の昇上も同一である、健全にして善良なるものゝ子孫によるの外はないのである、然るに若し戰爭に依つて勇敢にして剛毅なる者が戰場の露と消ゑて殘つて其子孫によつて國が作らるゝとすれば到底精英の國家を立てるわけには行かぬのである、此理屈は歷史が實際に證據立てゝ居る、羅馬の衰亡は實に絕ゑ間なき北方蠻族の征服の爲に强勇なる市民の大部分を失つて北狄蠻人に亡ぼされたのである、羅馬史家の言に曰く羅馬滅亡の際には羅馬は羅馬人以外の凡庸なる人々のみとなつたからであると云つて居る、私は時間がないから多くの例を省く只橫濱のアーサーナップ氏が日露戰爭に過去二百五十年の泰平を夢て居た日本が勝つたと云ふのは驚く可き現象であると云つたが私は此二百五十年の泰平が續いたればこそ優秀なる子孫を多く遺す事が出來て此無比の大戰に美事なる勝を占むる事を得たのであると信ずる。

私は實に一日も早く此人類を墮落させる戰爭がなくなつて戰鬪艦も大砲も一種の骨董として玩賞する期の來らん事を希望する、借て戰を竭める方法は三つある。第一は戰爭に對する科學的明確の知識を得る事である、戰爭が文明に如何なる結果を齎らすかを研究する事である、第二に斯くして得たる知識を世界一般に普及して各國共之に對する輿論を起し戰爭の避く可き思想を鼓吹するのである、此輿論は各國の主權者も亦大に希望する處であると信ずる、第三はヘーグに在る仲裁裁判所を擴張して有望ならしむる事である、既に今日迄七百三十の事件がヘーグ仲裁裁判で平和に解決せられたのである、英米仲裁條約も痛切に其成立を希望する私は此樣に、仲裁裁判が有効なる作用をなし得るのを深く信ずる。

說き了り博士は最後の通譯の終るを待ち壇上に立ちて一揖さるゝや破るゝが如き喝采の內に會は閉されたり

●**始政紀念繪葉書の發賣** 十月一日の總督府施政一週年紀念繪葉書は幾分ある內は何時にても公衆の購求に應じ發賣する由

●**商工調查委員に通知** 京城商業會議所にては去月三十日各商工調查委員に囑托の通牒を發したりと

●**仁川俱樂部幹事選擧** 仁川俱樂部評議員は二日午後七時より俱樂部樓上に會合し幹事の選擧を行ふ由

●**有賀內部々長の出張** 有賀京畿道內務部長官は二日出發楊州郡にて開催の郡參事諮問會に臨席し更に漣川郡に於ける來五日の授產場修了式に參列すと

●**突山諸島の漁況** 全羅南道突山郡內に於ける諸島の漁業狀況如左

▲治島　本島に於ては兵庫縣人山野鶴松屋人今木武一郎なる者客月下旬より鰮の漁業に從事し居れるが一日の漁獲高一千五百貫以上に達し一貫目に付三十錢內外にして目下神戶地方に運搬販賣しつゝあり

▲汝月島　本島は鰕の漁場にして客月中旬より漁期に入り漁獲物は總て干鰕に製造し居れり併し近來は風波荒らく例年に比し漁獲高を減少せるも今日迄の製造高六十三俵此價格三千圓に達せり今後天候順調なるに於ては意外の量漁ならんと豫想せらる

▲羅老島　本島は鰕及鯛の漁場なるが本月上旬より盛漁期に入るを以て營業者は其準備に多忙を極め居れり

▲**京城手形交換高**▼

三十日	金高	二三四、二九九、二九
	枚數	七一〇

▲**治外法權**▼

此頃は殆んざ每日のように著名な外人旅客がヤッて來る、平和宣傳のジョルダン、シカゴ大學人類學者のスタール、北淸駐在佛軍司令官ピラコット、米の女流著述家セムプル等其他屈指に遑あらざる程に▲サテ記者を以てすれば斯くも著名の外人達が半島を見に來て吳れるのは結構の事だ、何となれば外人の見物評は之れ他山の石、我を益することが頗る多い▲夫れはそれとして外人訪問者が來る度每に一番忙しい目を見るのは山縣政務總監だが、彼れは著名な外人の訪問を受くれば、感心にも彼の偉大な体軀を提げ、敢てオックーにも思はず、必ず答禮に出掛ける▲思ふに其セイ許りでもあるまいが、彼れ政務總監の評判は、外人間に在つて中々好い、で、願はくは總監たる者、今後とても總督の女房役、外人との交際は旨く切廻して欲しいね▲序に言ふ、過日政務總監が平和博士を招宴したとき、市原鮮銀は陪賓として加はつたが、米人さしては當然コンナ席に見ゆべき筈と思つた、ダイチのダイチの民長が加らなかつた▲ソコで博士は民長の不參を不思議に思ひ其事を或人に話されたソウだが、政務總監も今後は注意して外人招宴の際には民長を落さない樣にしてはドーかね▲大邱に私立無補助の商業銀行が出來る、聊さか負ふた兒に淺瀨を敎へらるゝ感はあるが、我京城でも私立京城商業銀行を作つてはドーかね。



●市内 口入屋の卅分 白面子

中川口入所(續)

只一言『奉公口は無いか』と尋ねた丈けで『故郷へ歸つた方が御用だらう』と云ふ隨分無遠慮な唐變木もあればあるもの腹も立たない、惡口も此位思ひ切つて言はば怒るよりも可笑しくなるものだ『マア急くまい僕の奉公口ではないので女だよ、若い美人の奉公口だよ』と此方は彼奴よりは上手なる『女、女なら大に有りますね、マアれかけなさい』と煙草盆を突き出したんだ、スルト奴さんクルツと起き直つた、女將の眼も主人の眼も一機に光つた、隨分現金な男だ、座り直した女將さんが『下女にですか藝妓、娼妓、仲居何んな處です』と云ふ『實は四五日前郷里から從妹見たいな女が二人訪ねて來た尤も其内の一人は人三化四、殘りの三分は南瓜に似て居ようと云ふのだから藝妓にも娼妓にも仕ようたつて威りは仕ない下女にも何うかと思はれるのだ……見世物にならツツクリ其儘間に合はうと云ふ代物だ、然るに此所に不思議な事には一人の方は素敵滅法界に遠慮會釋もない美人で年齢は恰二十歳なんだが人は見掛けに依らぬもので此女は不心得にも遊んで食べたい夫れも飯米斗りおやア胃に毒だから酒も一日に三遍位は飲らなければと云ふのだから妾より外にする商賣は無からうと思ふんだ』朝鮮だけに口に稅金はかゝらない、上顎と下顎が打突かつた處をた聞に達する

女中は醜婦の方が好ござんすよ、一ケ月七圓位ですね、時に故郷は』と來た『天草です』『天草は本渡町、僕は熊本の京町だよ』便利なものである『何うですか景氣は』とスピクと女將は『以前市中に小料理屋のある當時は百人に八十人位迄酌婦が仲居でしたが今では百人が九十五人迄女中衆です私共では酌婦の方は全然で手掛けないと云つて宜い程です、縣別にすると山口、大分、長崎、熊本、福岡と云ふ順ですよ周旋料は下女が雇主と當人とで五十錢宛藝娼妓酌婦は前借金の五歩を雇主から三歩を當人から貰ひます、何分警察が嚴重なんでね白貴君』妙に節をつけて嘆息する『貴君の御除業は』と尋ねる『或る會社の小使ですがね……銀行の頭取の口でもあつたら一つ世話して下さい』と言る『マア馬鹿らしい』と女將は眞實馬鹿らし相な顏をする『**官舍の方**は誠に**下女が厭がります**奇麗な女だと奥樣が嚴しい醜ければ旦那樣が喧しい夫れで使ひ方は酷です……妾の方は月**十八圓の手當**で**下宿屋住居**をさせてと云ふのが一口あります、**旦那**ですか**總督府へ勤めの工學士**さん旭町の某館に下宿中ですが氣に入れば本妻にするとの事です、明朝にも玉を連れなさいよ』と女將ナカ〳〵叮嚀に說明する、時計を見ると十時二十分過だ、眠くなつたので宜い加減にして歸つた(終)

●喜劇「犬の探偵」

▽良人思ひの妻君の機轉

『妾決して嫉いて申すのでは御座いませんがね……イ、エ夫れは旺隠しなさつても駄目、イ、エ、イ、エ夫れは旺隠しなさつても駄目……チ、決して嫉くのなんのと申すのでは御座いません、殿方の働ですものね……イ、エ眞實ですよ、嘗て操りだなんて夫れは貴郎の邪推ですよ、マ夫れは夫れとして貴郎貴郎のお出先位は女房の私として知らないでは困ります、御主人は? 何處へ參りましたか存じません……では貴郎私が餘の呆然になりますものね、イエれ妾でなければ要でないとしてですね、ツマリ貴郎のお小休所、お假屋……名前は何でも宜いとしましてお出先は何町何番地何の誰方……と丈けは一寸伺はんでも承知して居りませんと、ソレツと云ふ時に困ります、ナンノ貴郎妾の一人位お留になつたからとて何う斯う申す身分でないのですから妾でも手かけでも足かけでも名前は何でも好ござんす其れ其の町所番地だけは仰云つて戴いて下さらんと、イザッ、ソレツ、ヤレツ、ソラツ、アレツと云ふ貴郎急場の間に合ひませんから何うか其の町所から番地其れ方の名前、何のお何……と丈けは承知して居りませんでは女房としての役が濟みませんよ』と幾何攻めても『其樣な事はないよ、夫りや御前の邪推だよ』と一切受け附けない人の惡い旦那と云ふは**本町一丁目の米穀商の今村伊三郎**君妻君は即ちてる子さんと申して本年二十六歳旦那大切に勤勉になるが伊三郎さんナカ〳〵の浮氣男で數々浮氣ひ果が妾沙汰となるに至つた原因は昨年四月南山町二丁目の高瀬與吉君と同伴に大分の別府温泉で警察の疑を受ける迄の大散財を極め込んでの歸りがけ高瀬君は同地賣淫樓の初香と云ふを三百八十圓で落籍し伴れ歸つて旭町に妾宅を構へたのを見た伊三郎君大に憤慨心を起し早速新町の**京城樓**に駈け込んで藝名**京子**と云ふ藤井きよ(二三)を三百九十五圓で落籍したのが昨年の八月中旬であつた、爾來歸らぬ夜が多いので前記の如くてるさんが心配をする次第、ナンノハヽイ**壽町一丁目**のコーした宅だと云へば夫れで好いものをヘシ隱に隱すのでてる子さんの心配は一通りでない、若もチャンと一つ打つ突つた時にも何處に知らせる的もなし何うしたものかと思案の末が店員の某々等に運動費を與へて京城樓に遊興せしめ其方から探索に從事せしめたが又此の店員狡猾な奴で天下御免の女郎買と云ふに浮れて仕舞ひ肝腎の探索の方は忘れ主家へ歸つて女將の顏を見て始めて思ひ出すと云ふ始末(つゞく)

●南大門驛の椿事

▽滊車一輛の大審殺

一日午後四時五十分南大門驛發太田行普通列車が南大門驛構內にて貨車と衝突し乘客小西松次郎外**七名の日鮮人に重輕傷**を負はせたる椿事ありたり負傷者中小西松次郎、李仁永の二名は直ちに自宅に歸り醫療を加へつゝあるも他は負傷のまゝ定刻に出發したるが狹隘なる南大門驛の事とて一時は非常の雜沓を極めたりしと云ふ因に負傷者の住所氏名を聞くに左の如し

龍山漢江通り一ノ四一履物商雇人 小西松次郎(二七)
右肩より右足にかけ打撲傷を受け疾病休業七日間
北部通洞二十一統十二戶 李王家屬 李仁永(四一)
鼻部擦傷出血甚だしく疾病休業二日間
龍山鐵道官舍二十八號西村方下女 中尾たみ(十八)
頭部打撲傷
西部藥峴 朴召史(五八)
右手打撲傷
東部厚岩洞 金召史(三二)
右胸部打撲傷
成歡驛市場 川井いく(二五)
頭部打撲傷
龍山鐵道官舍八十一 小西とら(二八)
顏部打撲傷
龍山新明町鐵道工夫 山口喜太郎(四七)
顏部打撲傷

●官服着用の食逃

▽壞れたる武官紀や

去る三十日午後七時頃四十前後の總督府判任官制服着用者三名及雇員風一名にて新町遊廓露國人料理店サービラ一方にてビール其の他飲食代金六圓六十錢を支辨せずして逃走したりとて其の筋に訴へたりとは困た判任官

●棄兒の親は發狂

▽可愛くて棄てた親

二十八日午後七時半頃西部盤松坊小平洞六十七統六戶基督教傳道師徐主興方門內に生後八ケ月位の女兒遺棄しありたる事は既報の如くなるが其の後西部署に於て取調の結果京畿道水原郡西川內朴汝實の妻徐姓女(三七)が棄てたる事判明したり徐姓女は夫朴が本年三月頃より精神病に罹り子供三人ありて生活に困難し去月二十一日頃京城に來りしが夫は精神病益々惡しくなり二十七日より乞食として貰ひに行き乞食行衛不明となり親子四人は糊口に迫りし爲め乳呑兒が居されば迚て遺棄したるものなりと

●市外電話に就て

電話加入者が通則なるを知らず他人に電話み貸與使用をなさしむるは時々見受くることとなるが市內の通話なれば料金問題も起らされども何等家人に斷りなく市外區域なる仁川、龍山等へ話すこともありて其家人は之れに氣付かず市內通話とのみ心得居り他日郵便局より市外通話料金納入告知書の送付を受け初めて不審を起し郵便局に照會の向もあり相互大に手數を要することありと云ふ一般加入者は充分の注意を拂ひ迷惑を蒙らざる事肝要なり

●小便を飲ませる

仁川府鳥洞面谷林里三統六戶李基玉(二八)は三十日附近の尹近泳の妻(四七)及同人の長男弘植(十)を何等の理由なく毆打し剩へ傍らにありし便器の尿を李召吏の鼻及口中へ注入したる騷ぎに尹近泳驅付け打押へ直ちに其筋に告訴したるより李基玉は本署に引致され目下取調中

●重荷に小附け

既報長崎縣人當時永登浦監獄在監小田駒三郎(三二)大阪府生れ當時永登浦左監人前川作次郎(三二)等が憲兵在聽中の恐喝取財事件確定後更らに長崎縣人當時仁川府龍岡町二丁目鎌度直作(四〇)と共謀し河船運漕會社創立に關する創立費橫領事件は京城地方裁判所に於て鎌度は懲役八月に小田前川は懲役各六月に處せらる

●仁川學校運動會

來る八日日曜日仁川尋常小學校及幼稚園、實科高等女學校、高等小學校、商業學校等の秋季聯合運動會は觀測所下に於て開催せらるゝに定めて盛會なるべし

●仁川消防隊へ寄附

三十日仁川常備消防隊に對し左の諸氏より寄贈あり

一金二十圓及淸酒一樽 八田利三郎
一淸酒一樽英米煙草株式會社、一淸酒二箱中和會館、一金百圓世昌洋行

●曹洞宗の高僧入京

今回曹洞宗布敎總監督として同宗の高僧北野元峯老師同副總監上野舜城師並に大學出身若手の布敎師留學生十名其の外數名の隨行員等は三日午後八時十分南大門驛着入京の筈なり

●仁川の野犬撲殺

仁川警察署に於ては去月二十九日より市中の野犬撲殺を開始し一昨日までに六十一頭を撲殺したるが尚引續き撲殺を繼續せり

●叺の盜難

仁川松林里一番地中村今太方にては三十日夜五斗入叺五十四枚代四圓八十六錢を竊取され屆出づ

●南門校運動會

既報の如く一日午後九時半より慶熙宮に於て秋季運動會を開催したるが極めて盛會なりし

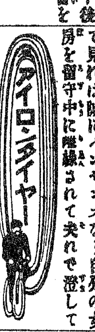
●演藝だより

▲壽座 每夜大人氣なる後藤良介一行三日の替り狂言一番目『觀音岩』二番目『金色夜叉』切喜劇『手管』なりと娘れどよ、藝妓小文(松下)箕輪亮助、燕の者(內田)娘の細太、間貫一(後藤)千枝子(藤田)友人佐分利(雪岡)お宮(北子)富山若旦那(藤野)

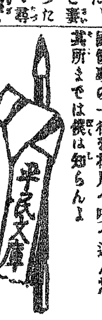
▲歌舞伎座 エムパテー活動寫眞映寫全部取替と共に一等五十錢二等四十錢三等三十錢四等二十錢小供十錢に値上げしたりと

●壽座雜觀 衆生

夕飯半にして時計を見る、八時半だ、『モウ遲いなア』と思はず獨りごつと妻君『何がですか』と來た『ウー』と云つた限りにする『何がです』と疊みかけて尋ねるモウ默つて居る場合でない『壽座』と云つてコックリ居眠りをして見る『壽座…後藤の…壽座…遲くは御座いませんよ未だヤット八時半です、サア參りましよう』『ウー』と云つて默つて居る『お車が參りました』『ウー』と云つて乘る、斯くして逐々伴れられた壽座、**右女助の丸髷姿**が高の九に見ゆる旦那は誰れだなんて野暮なこと、彼れは九月中旬から買つて買つて買り立ても席順がナンデモ六番位だらうつてね評判だ、**辻屋の夫婦**が高の四に陣取る松浦君が妻君の手を引いて芝居目物と日家內の中程るが思ひ遣られて羨ましい、平土間の一番れ尻に旭町のすみ家の女將とお中どが泰然と卑を捲りて居る高の二三を打ち拔いイ**佛國領事が書記生**を伴れて觀て居る、ドクトル工藤武城君の令弟が通譯の勞を執つて居る、領事曰く『アノ武官(後藤役)の表情は巧なもので語は通せぬが大凡は推量せられる、日本にも少い名優でしよう』と後藤たるもの以て光榮とすべしだ、知己は思はぬ所にあるもの、**花月のれ茶羅**と**小達磨**が領事席を覗ふ、**池田小兒科醫**も見へる、**清華亭のとん子**と**三次**とが列んでれ白粉臭ひ所をれ目に掛ける、藝題は『つきぬ怨』とあつて『不如歸』の人名を變へた丈けの筋のもの、米は先祖代々食べて居るが飽きない、筋は古い而して拙劣な、通して見れば誠にノンセンスな…自分の女房を留守中に離緣されて夫れで澄して



代りの女房を貰つて、そして夫れが自分の母や姉やの惡計に出でたと知ると母や姉やを怨む事を知つて自己の非を知らない…日本人通有な貞操を女にのみ求むる缺點を遺憾なく發揮したる…筋ではあるが之は筋が惡いので役者の惡いのではない、其の證據には後藤の仙波少將(不如歸の片岡中將)の如き無類の出來であつた、特に娘照江の爲めに忍んで其姑に詫を入れるあたりの思入れから態度は實際に其所を見ると同樣に感じた、れ茶羅と小達磨は佛國領事の一行を花月へ咬へ込んだ……其所までは僕は知らんよ



▲此頃總督府醫院小兒科西の五に付添の佐伯とか申れ方は夜も晝も寢ずに誠に患に大切に看護に盡す誠に能く行き屆き居ります澤山付添も居ますけれど此方の樣に感心の方は珍らしい實に稀な人です(無名氏)▲西大門外鐵道官舍の〇本と云ふ人の妻君は後妻にて自分の子が一人のある爲め先妻のれ子さんを虐めますこと見て居られません處へ又內地から先妻の子の年頃の娘さんが來られたら夫れにも當り散します憎い人です(實見生)▲旭町一丁目別府組の屋根の上に數の植木鉢が澤山排列してあるが其の鉢の足が今少しで外れ相に成つて居る外れるとドット道路に落ちる通行の惡い人は打殺されるかも知れぬ僕は每日其下を通行する小供を有て居るものです危險を除いて下さい(心配生)▲別府組には限りません何處でもケ樣な事は注意して修繕されたい(係)▲後藤一座の芝居を觀たが實際巧手い金色夜叉でも演つて貰いたいナ(希望生)▲本町六丁目の菓子屋の隣りの家具店の夫婦は實にお客扱が親切であるから買つてるものも一層手堅し品の如何に思へて心持が好い(買物生)▲名を職にして其實私利を圖りて鮮人より多大なる會員を掻き上げ今尙得々と大面をして總督府の門をも憚らず出入する斯る者ありと其筋の嚴探を願ふ(憂鮮者)▲餘りにボッとして居て判らなさ過ぎる(係)▲旭町二丁目邊にれ住居り若い御夫婦で如何な興行物にも姿を見ない事のない方のれ名前が知りたい奥さんはナカナカの美人だ(何度生)▲何の用があるのですか、危ねえものだナ(小僧)▲歌舞伎座の活動寫眞は實に面白い小供には是に限るよ(への字)